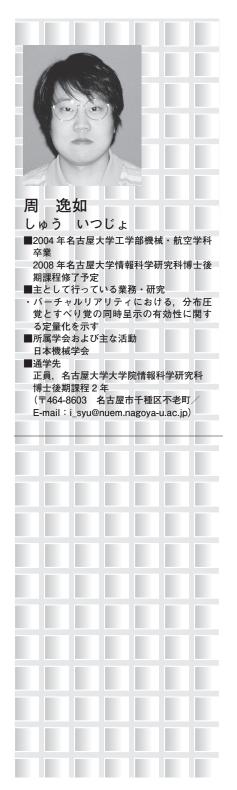


私の故郷「上海」

My Hometown Shanghai





自己紹介

私は中国の上海で生まれ育ち、同済 大学を卒業した後、3年間を働き、さ らなる知識を得るために1999年に 日本に留学した。その後、名古屋大学 工学部を経て、同学の大学院の前期課 程を修了し、現在は博士後期課程の2 年生で触覚の仮想現実感をテーマに研 究している。

2

上海のイメージ

上海といえば、上海蟹や上海小籠包、まず、皆さんはこれらを思い出すだろう、上海とは、多面的要素が交錯する町である、伝統、租界、外来資本、それらが混然となり、うねるように変化を続ける街、それが上海の魅力である。

中国の他の多くの地区と同様に、上海にも歴史的建物が残っている。豫園は、1577年に完成した中国式庭園で、細かく区切られた庭園の中に小さな建物がちょこちょこと建っている。いちばん有名な建物は湖心亭である。赤く塗られた柱・窓・扉などの上に、日本のお寺と変わらない色をした気が載っている。屋根は反り屋根で、日本の寺院建築と比べると、まず端がピン

と笑っている. 上海を最も代表するのは外難, 通称バンドと呼ばれる河岸地帯である. ここには当時, 列強が建てたビル群がある. とくに有名な建物は和平飯店である. この建物も古く, レトロっぽい雰囲気を多く残している. ホテルの1階にはバーがあり, 60年前と同じ老年爵士楽隊が演奏している. 部屋も演奏も雰囲気はレトロそのもので, そこに外人ばかり集まって聞いている様子は, まさに時代と場所を越えて上海の租界時代を伝えてくれるものである.

中国の大都市は、みなどこへ行って もウゾウゾと人が多くて、一種の「う ざったい」とでも言うような共通した 感じがある. 人口過密と中国の文化・ 生活様式が醸しだす独特の雰囲気とい える。また、同じ中国でも上海には独 特の事情があって、他の中国の都市と の差を作りだしてもいる. 上海は昔か ら移民が流入し、とにかく人がひしめ く町が出来た. さらに租界の開発によ り、中心部には早くから近代的な町並 みが形成されて, 上海らしさが出来上 がった. 加えて改革開放からは、外来 資本の力で現代的なビルが林立する町 となった. でも上海に住む人々は、昔 から狭い土地に身を寄せ合って工夫し ながら生きてきた. 今でもその生活ぶ

りを、ちょっと裏手の路地に入ると見ることが出来る。いろいろなものを売る店があって、子供が路地で遊んでいる。独特の家屋の表情があって、多くの人が行き交うが、観光客が入ると場違いな感じがある。

上海は、20年前から大量の資本が 流入し、どんどんビルが新築され、イ ンフラが整備され、今も開発ラッシュ が続いている. 空港から市内までの道 のりに見える高層ビル群は、いま上海 がどのような経済の波にのまれている のか、如実に示している. 市街には新 しい現代的な商店街が出来、浦東地区 では大規模な再開発が進行中である. それに限らず、町のいたるところで古 い建物が取り壊され、再開発の名のも とに地面がその姿をさらけ出してい る. とにかく中国だけでなく各国から 資本が、おびき寄せられたように集 まっている. ビルや商店には香港や華 本主義が、共産主義中国のこの地にも 降り立っている。その世界とつながっ た経済実験の様子を、ここ上海であな たも目の当たりにすることができる.

3 上海人

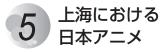
一般的に日本人は「中国人」という イメージを漠然とくくって、それをす べての中国人にあてはめている. しか し、日本でも、東京人と大阪人とでは 言葉やビジネスのやり方が違うよう に、中国においても地域によって相当 な違いがある.

上海は商業精神にあふれていることで有名な移民都市であり、世界50箇国から移民が集まっている国際都市で

もある. 上海人はきめ細かであるが. 聡明ではない. また能力はあるのだが. 迫力はないという特徴がある. 北京人 とは対照的に、ビジネスでは上海人は 感情的な要素を排除し、ことに商売に 関しては合理的かつ冷静に進めるタイ プです. 現実離れしたことに関しては 本能的に反感を示すところがあり、実 用性を最優先し、名よりも実をとる傾 向が強い、 ト海人は利益を冷徹に計算 し、相手のどんな欺瞞も見落とせない. 上海人を描写するときに「精明」とい う言葉がよく使われる. この言葉のな かには、最小の投資で最大の利益を得 ようとする考え方がいかんなく発揮さ れている.

一般的に、上海人は慎重かつ保守的な性格といわれているため、リスクの高い事業のパートナーには向いていないかもしれない。よく「商売人の上海人」といわれるが、それはあくまでも計算の面であり、むしろ他地域の中国人に比べると「商人」らしくない。どちらかといえば、商売よりは物作りにたけ、日常用品、工業製品の製造と販売に強く、中国国内でもその製品が市場で高く評価されている。

されているので、私たちも積極的に考え取組んでいかなくてはならないと思う。日本では詰込み教育の弊害から個性・才能を伸ばし創造性を養うためにゆとり教育が提唱されたが、上海でも現在クリエイト力の弱さが問題となっているそうなので、互いに情報を交換し、どのような教育改革がよいのか検討していく必要があると思う。



上海では、自国のアニメ保護のため、他国のアニメの規制が厳しいそうだ. そのため、子供たちはテレビよりインタネットで見る人が多くなっている. 日本のアニメに関心を持っている人が多く、アニメの学校に留学する人も増加しているそうだ. アニメを媒介にした文化交流もたいへん有益であると思った.



上海の教育

上海では教育のレベルが高いといえる。日本に比べ、共産主義の中国は国家の強い教育政策によって、学校に対して多額の資金が出されているそうだ。それにより、多くの生徒に高いレベルの教育を受けさせている。

今,日本では「ゆとり教育」と称し、 授業数や内容が減少したカリキュラム により学力の低下を招いていると指摘